

令和3年度事業報告書

令和3年度は、続く新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、2度の緊急事態宣言の発令と3度のまん延防止等重点措置の適用など、ほぼ1年に渡り社会経済活動全般に大きな影響が生じた。

このような状況下において、当協会としては、一部の事業では規模の縮小や実施の見送りをせざるを得なかったものの、国や東京都による感染拡大防止対策に協力し、徹底した感染拡大防止対策により参加者や職員の安全確保を図りながら、参加人数を絞って船による東京港見学会を開催したほか、事業説明会や「東京港のつどい」、東京みなと祭をWEB配信方式で開催するなど、可能な限り事業の実施に努めた。

また、収支の改善を図るため引き続き経費の削減に努めるとともに、協会の財政基盤の確立のための収益事業を実施した。

1. 港湾振興事業

(1) 東京港振興促進協議会

平成26年1月に策定された「第4次アクションプラン」の課題実現に向け、東京港の物流機能の強化や安全の確保・危機管理、環境に配慮したみなとづくり、みなとの賑わいの創出などへの取組みを進めた。

(2) 船舶貨物誘致活動の推進

国外でのポートセールス活動を実施するため、東京港振興使節団の派遣について検討を行ったが、新型コロナウイルス感染症の国内外での感染拡大を受け、使節団の派遣を見送った。

(3) 客船誘致活動の推進

① 入出港歓送迎行事等の実施

新型コロナウイルス感染症の影響により、クルーズ客船の東京港寄港がキャンセルとなったため、入出港歓送迎行事は全て中止となった。

② 東京クルーズセミナー

令和3年度の東京クルーズセミナーについては、国内外のクルーズ客船が運航を中止としていることに加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。

③ 東京クルーズ客船プロジェクトチームへの参加

クルーズ客船の動向を調査するなど、各クルーズ客船社の新型コロナウイルス感染症への対応についての情報収集を行った。

(4) 荷主などとの懇談会の開催

荷主企業や船会社等に対して、東京港のメリットや取組み、最新情報などを提供し、東京港の利用促進を図るため、「東京港のつどい」を開催した。

実施にあたっては新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮し、WEB配信による開催とした。

セミナーでは、東京都港湾局から令和3年11月に東京都港湾審議会に報告された長期構想の中間まとめについての説明などを行った。

開催日 令和3年12月23日

主催者 東京都、東京港埠頭株式会社、東京都港湾振興協会

セミナー ①「東京港第9次改訂港湾計画に向けた長期構想について」

講師 東京都港湾局港湾整備部港湾計画担当部長 水飼 和典 氏

②「世界経済と日本企業の海外事業展開」

講師 日本貿易振興機構海外調査部国際経済課課長代理 朝倉 啓介 氏

視聴者数 169名

(5) 都民を対象とした東京港などの見学会の実施

① 社会科見学船による東京港案内

東京都との共同事業として、船の提供は都が、募集・案内業務は当協会が担当し、都内の小学4年生から6年生及び中学生を対象に、海上バスによる東京港案内を実施し、東京港の役割や都民生活とのかかわりなどを説明した。

運航にあたっては、乗船時の手指消毒、検温の実施や船内でのマスクの着用、乗船定員を座席数の半数にするなど感染対策を徹底し、乗船者や船員、案内従事者の安全の確保を図った。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、令和3年10月から12月までの3ヶ月のみの運航となった。

45航海、47団体、2,082名の乗船者に対して案内を実施した。

② 視察船による東京港土曜見学会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。

③ 親子で行く！東京港高潮対策センター見学&運河クルーズ

東京都からの受託事業として、高潮や津波による水害から都民の生命・財産を守る高潮対策センターの見学と東京の魅力あふれる運河を水上タクシーなどで巡るクルーズの実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため実施が見送られた。

④ 東京港夜景観賞ツアー

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。

(6) 東京港及び臨海副都心の観光案内事業の実施

日の出ふ頭海上バス発着所に観光案内掲示板及びパンフレットスタンドなどを設置し、各種博物館などの施設案内や港湾局事業をはじめとする東京都のお知らせなどの情報提供に努めた。

2. 情報提供等事業

(1) 会誌「東京港」及び東京港関係資料などの発行・配布・販売

- ① 会誌「東京港」（年4回発行）
- ② 「東京港ハンドブック」（和文・英文）
- ③ 「東京港便覧」

(2) 会員を対象とした東京港などの見学会の開催

① 会員向け東京港見学会・研修会

水上バスをチャーターし、船による東京港見学会を実施した。

実施にあたっては、乗船時の手指消毒、検温の実施や船内でのマスクの着用、募集人数を座席数の半数にするなど感染対策を徹底し、参加者や船員、案内従事者の安全の確保を図った。

実施日 4月13日、15日
12月10日、14日

参加者 207名

② 東京港夜景見学会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。

(3) 東京都港湾局等事業説明会及び講演会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を考慮し、WEB配信による開催とした。

<事業説明会>

① 「令和3年度 東京都港湾局事業について」

東京都港湾局総務部企画計理課長 山田 健太 氏

② 「令和3年度 東京港埠頭株式会社事業について」

東京港埠頭株式会社総務部部長代理（経理課長事務取扱） 卯月 秀実 氏

<講演会>

「東京港を巡る最近の話題」

東京都港湾局技監 山岡 達也 氏

配信期間 事業説明会 4月19日～5月14日

講演会 6月21日～7月16日

(4) 港湾事業講習会及び東京都港湾整備振興大会の開催

東京都からの受託事業として実施を予定していた港湾事業講習会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため実施が見送られた。

一方、東京都港湾整備振興大会については、東京港及び島しょ港湾の整備振興には国などに対する働きかけが必要不可欠であることから、会員に対し書面により提案し、大多数の賛同を得て採択された「東京都の港湾・海岸整備の振興に対する要望に関する決議文」をもって関係機関に対して要望活動を行った。

3. 東京みなと祭事業

東京みなと祭協議会の事務局として、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と参加者の安全・健康を守るためオンラインにより第72回東京みなと祭を開催した。

東京港の歴史や役割を紹介するコーナーや過去の水の消防ページェントの様子などが見ることができる動画コーナーのほか、特別ゲストに「さかなクン」を迎えたトークショーの動画を期間限定で公開するなど様々なコンテンツを展開した。

なお、東京港港湾功労者表彰式については中止としたが、東京港港湾功労者表彰は5月20日付で行われており、港湾功労者13名に都知事感謝状と記念品を贈呈した。

また、東京港開港記念祝賀会については当協会が事務局を務める東京港開港記念祝賀会実行委員会において中止を決定した。

開催期間 4月15日～6月15日

ページビュー数 25,451PV

4. 広報関連受託事業

東京都から委託を受けて、次の事業を東京港PR活動として実施した。

(1) 初入港船等の歓送迎

東京港初入港のコンテナ船などに対し、記念楯の贈呈を18回実施した。

また、クルーズ客船の東京港寄港がキャンセルとなったため、入出港歓送迎行事は全て中止となったが、クルーズ客船社の運航再開に向けた動向の情報収集などに努めた。

(2) 視察船による東京港案内

国内の港湾関係者のほか、広く都民を対象に、視察船による東京港案内を実施し、東京

港の将来計画や各種港湾施設の説明を通じ、東京港の機能や都民生活とのかかわりなどの理解を図った。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、11月から1月までの運航となったが、運航休止の間、案内従事者への業務研修を実施した。

また、東京2020大会にあわせて、7月及び8月に国内外のメディアを対象に視察船を活用して海上から臨海副都心の大会競技会場を取材するメディアツアーが実施され、船内での案内業務を行った。

運航にあたっては、乗船時の手指消毒、検温の実施や船内でのマスクの着用、乗船者数を定員の半数にするなど感染対策を徹底し、乗船者や船員、案内従事者の安全の確保を図った。

61航海、918名に対して案内を実施した。

5. 東京臨海部広報展示室事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、5月31日まで臨時休室としていたが、6月1日から金曜日、土曜日、祝前日の夜間開室を中止して開室時間を短縮するとともに、団体を除く一般来室者のみの受入れとして再開した。

10月1日からは金曜日、土曜日、祝前日の夜間開室を再開、11月2日からは40名を上限として団体の受入れを再開したが、その後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により1月11日から3月24日まで間、再度臨時休室とした。

開室にあたっては、来室者及びスタッフの手指消毒の励行や検温の実施、展示室内のこまめな消毒作業の実施など感染防止対策を徹底し、来室者やスタッフの安全を図るとともに次のとおり特別企画展を開催した。

○ 東京港開港80周年記念パネル展

東京港が国際貿易港として開港80周年を迎えたことを記念した、開港当時の様子や最新の港湾施設を紹介するパネル展

さらに、東京臨海部に整備されている東京2020大会の競技会場を紹介するパネルもあわせて展示

開催期間 令和3年6月15日～9月12日

○ ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞入賞作品展

全国の小学生・中学生・高校生を対象に、海事産業の重要性を理解してもらうことを目的として開催されている「ジュニア・SHIPPING・ジャーナリスト賞」（主催 公益財団法人日本海事広報協会）の2020年度の入賞作品展

開催期間 令和3年9月14日～10月31日

○ 海上公園フォトコンテスト受賞作品展

東京港埠頭株式会社様のご協力をいただき、同社が主催のお台場エリア周辺の海

上公園を対象公園としたフォトコンテストの最優秀賞などの受賞作品展と海上公園の魅力を紹介するパネル展

開催期間 令和3年9月14日～10月31日

○ 工事の見える化展

東京港で日々行われている様々な工事の中から、浚渫工事や水深の測量調査、新海面処分場の整備、臨港道路等の無電柱化、橋梁・トンネルの長寿命化、高潮対策などについて、パネルや模型、映像により「見える化」して紹介

開催期間 令和3年11月2日～令和4年1月10日

○ 晴海客船ターミナル写真展

2月20日に閉鎖された晴海客船ターミナルのこれまでを、クルーズ客船の歓送迎セレモニーや東京みなと祭での賑わい、建設途中の様子などの写真パネルとスライド映像で紹介

開催期間 令和4年3月25日～6月5日

令和3年度の入室者数は6,256名であった。

6. 収益事業

当協会が設置した駐車場、自動販売機などの営業活動を実施するとともに、「東京港ハンドブック」「東京港便覧」などの東京港関係資料の販売を行った。

7. 会員の異動状況

(1) 新規入会申し込み会員

法人 0社

(2) 退会会員

法人 5社

(3) 会員数

302社（令和4年6月1日現在）